

<レッスン 1-前半>

ゴール：WEB 抽選機ガラポンを作る

【主な学習内容】 `console.log()`, `alert()`, コメント, 変数, `prompt()`, データ型



著者：講師 K

Crebit プログラミング教室

0. はじめに

■ プログラミングって何ができるの？

プログラミングって、なんだかカッコよさそうだけど…

「自分にはムリそう」「なんか難しそう」って思っていないですか？

たしかに、英語や記号が並んでいて、ちょっと敷居が高く見えるかもしれません。

でも、実はとっても身近で、**だれでも始められるやさしい世界**なんです！

たとえば、こんなことができます！

- ・ ボタンを押したら「こんにちは！」と声をかけてくれる
- ・ 名前を入力すると「〇〇さん、ようこそ！」とあいさつしてくれる
- ・ 決まった条件に合ったときだけ、特別なメッセージを表示する

プログラミングは、コンピュータとの「ちょっとした会話」のようなもの。

むずかしく考えなくて大丈夫。

あなたの言葉で、コンピュータを動かしてみましょう！

1. コンピュータへ命令してみよう

■ 早速、コンピュータへ命令してみよう

プログラミングとは、コンピュータに「してほしいこと」を伝える**命令**です。

言ってみれば、**ロボットにお仕事をお願い**するようなものです。

でも、コンピュータは人間の言葉はわかりません。

代わりに、特別なことばを使って伝えていきます。

今回はその中から、よく使う**2つの命令**を紹介します。

ひとつは「こっそり裏でメモをとる命令」、

もうひとつは「画面にメッセージを出す命令」です。

■ console.log()って何？ → 「コンピュータにこっそりメモさせる」

それではまず、最初の命令をご紹介します！

それがこちら、`console.log()`です。

日本語では「コンソール ドット ログ」と呼びます。

この命令を使うと、**裏でこっそりコンピュータにメモを残す**ことができます。

イメージでいうと…

あなたがメモ帳に「明日は早起き」と書き残すような感じです。

それと同じように、プログラムの中でも「これは覚えておいてね」と**コンピュータに記録させます**。

実際にメモを残したい内容は、

この `console.log()` の**かっこ ()** の中に書きます。

たとえば、「夢をあきらめないで！」と記録したいときは…

```
console.log('夢をあきらめないで！');
```

このように書きます。

※ 行の最後には、**セミコロン (;)** をつけるのが JavaScript の基本ルールです。

セミコロンは、「ここで1つの命令が終わりましたよ」という目印なんです。

実は省略しても動くこともありますが、**ルールとして毎回つけるクセをつけておくのがおすすめです！**また、文字列を入力する際には、文字列の両端にシングルクォート (') またはダブルクォート (") をつける必要があります。

■ では実際に、プログラムを動かしてみましょう！

この続きは、Credbit プログラミング教室のレッスンで体験できます。

実際に手を動かしながら、楽しく学んでいきましょう！

※ この教材の著作権は「Credbit プログラミング教室」に帰属します。
内容（文章・図・コード・画像等）の無断転載・複製・再配布を禁じます。